

役員選抜・育成プログラム説明会

経営陣トレーニングと 次世代経営者選抜育成の実践

改訂コーポレートガバナンス・コード対応、
CHRO主導の役員育成ROI算定まで

会期・会場

大阪 2026年7月28日(火)
[時間] 14:30 ~ 16:30

日本能率協会 関西事務所 研修室
(大阪市北区梅田)

名古屋 2026年9月8日(火)
[時間] 14:30 ~ 16:30

日本能率協会 中部事務所 研修室
(JR名古屋駅直結)

福岡 2026年10月6日(火)
[時間] 14:30 ~ 16:30

リファレンス駅東ビル
(福岡市博多区)

参加費用

参加無料 (1社2名まで) ※個人の方、コンサルタント・講師業と小会が判断する方からの申込みはお断りいたします

プログラム内容

1 経営課題解決に直結した経営陣トレーニングと 次世代経営者選抜育成の実践

～改訂コーポレートガバナンス・コード対応、
CHRO主導の役員育成ROI算定まで～

講師：星野芳昭氏
株式会社スター・ガバナンス 代表取締役

2 「役員研修 最新実施事例のご紹介」

一般社団法人日本能率協会 企画担当

- ・Q&A、課題の共有
- ・相談会 (希望者のみ)

開催の背景・趣旨

2021年のコーポレートガバナンス・コード(CGC)改訂で「取締役・監査役のトレーニング」が明記されてから5年が経過しました。現在、東証プライムをはじめとする上場企業に求められているのは、単なる「形式的な研修、講演会」からの脱却です。

「人的資本経営」を真に具現化する、戦略的な人材創出マネジメントへのステージアップが急務となっています。

さらにより重要な課題は「次期取締役・執行役員候補の早期選抜とプール制を用いたサクセッションプログラムを機能させること」、そして何より、経営のパートナーたる人材開発部門が「人材投資のROI (投資効果)」を明確にトップやその先の機関投資家等に証明することです。

本説明会では、40年以上にわたり数多くのマネジャーや経営者の育成を体系的に行ってきたコンサルタントが、最新の企業事例とともに参加者からの質疑に答えます。企画しても社内で理解が得られずに実施までたどりつかないとお悩みの方、幹部向けトレーニング特有の問題について解決のヒントが欲しい方もぜひご参加ください。ご希望の方には無料相談も承ります。



重点的に解説する

3つのポイント



1 「選抜型トレーニング」と「サクセッションプラン」の構築

現任役員へのトレーニング（CGC 対応）から一歩踏み込み、次期経営層を早期に特定・育成する「プール制」の導入と、そのための特別プログラムの設計手法を具体的に解説します。

2 人材開発投資におけるROI（投資効果）の算定

「研修を実施して終わり」という罠に陥らないために。人材開発部門が経営層等へ説明責任を果たすための、プログラム成果の可視化とROI算定フレームワークをご紹介します。

3 CHRO・HRBP 主導による人事部門のエキスパート化

人的資本経営を牽引するCHRO（最高人事責任者）や、事業部門の変革を促すHRBPが、いかにしてラインマネジャーとは異なるエキスパート、スペシャリスト的な動きをするかに関しても取り上げます。定型的な階層別研修を繰り返す守り型から全社のリスクを先回りして評価して経営を動かす攻め型への転換ポイントも

このような課題をお持ちの**人材開発部門及び取締役会事務局、社長室等のスタッフの方々に参加をおすすめします。**

- 自社の特性（上場、ホールディングス等）や経営戦略に直結する前例のない役員トレーニングを企画するにあたり、自社への最適化と社内の合意形成に苦慮している。
- 「サクセッションプラン（後継者育成計画）」をスタートしたが、知識や理論に留まり実際の成果が見えていない。
- 人的資本開示の要請が高まる中、人材開発投資の成果・効果をどのように測定し、トップの期待に応えるかを模索している。
- 他社の最新事例を自社の取り組みの参考にしたい。

講師紹介



星野 芳昭氏

株式会社スター・ガバナンス 代表取締役
ガバナンス・コーチ

〔プロフィール〕

慶應義塾大学商学部を卒業後、マネジメントの専門家を目指すため社団法人日本能率協会に入職。国際部にて経営モデルの国別比較、在日外資系企業向け会員サービス、一隅会（経営哲学懇話会）等に携わる。1985年コンサルティング部門（JMAC）に転籍。主に製造業の業務改革、組織改革、業績評価制度等管理制度改革、マネジャートレーニング、マネジメントサイクル定着化支援等のプロジェクト責任者を務める。1995年、政府および地方自治体の政策評価の制度設計とトレーニングを事業化。社会課題解決の指標化などに取り組む。2008年より上場企業におけるESG経営、統合レポートの普及に関与。サステナビリティ経営の足掛りとなる。2013年、コーポレートガバナンス、取締役会及び経営会議改革等のガバナンスに重点を移すためにJMACを退職。

株式会社スターガバナンスを設立。欧米の機関投資家と上場企業とのエンゲージメントやサステナビリティ全般に関わる経営調査と改革プロジェクト、社内研修、不祥事関連の調査委員会のセカンドレビュー等を行っている。JMAでは公開型の新任執行役員コース等や上場プライム企業等の執行役員選抜育成研修等を長年担当。

* マネジメントコンサルティング及び社内研修の経験は2025年現在で40年間。関わった企業等は500社を超える。